

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：牧の原自治会

開催場所：金谷牧の原地区コミュニティセンター

開催日時：平成 28 年 10 月 25 日（火）19 時 00 分～20 時 55 分

参加者：自治会側【地域住民の方 28 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、眞部危機管理部長、杉村地域生活部長、横田川健康福祉部長、三浦秘書課長、浅田金谷南北地域総合課長、秋山協働推進課長】

内 容

① 紅林自治会長あいさつ

- ・敬老会の折には、市長からメッセージをいただき、金谷地域で一番早く来ていただいた。
- ・静浜基地の静岡空港への移転の話が出た時には、市長から直接電話をいただいた。
- ・静岡空港の運営に関しては、地元の理解なくしては成り立つものではないという市長の発言はありがたかった。
- ・静浜基地はパイロットの訓練生の訓練の場で、静岡空港の民間機と一緒に空港で離発着することはありえないという、県や市の方のお話を聞いた。
- ・国内には、民間機と自衛隊機が併用している空港はあるが、その場合の自衛隊機のパイロットは非常に訓練されているというお話を聞いて安心した。

② 市長からの市政報告

■はじめに

- ・静浜基地の静岡空港への移転の話は、我々にとって、寝耳に水の話だった。通常、県が決めることで、地元に影響のあることは、事前に県から市（市長）に連絡があって、内諾の上で県が発表をする。先般の話は我々も新聞報道で知った。この報道の後は、慌ただしく県や自衛隊に連絡をして事実確認を行なった。
- ・知事は災害が起こった時に、静岡空港を基地として使ってくれていいという趣旨で発言されたということだが、新聞報道はそういう内容ではなかった。
- ・静浜基地は、半年の訓練期間において訓練をする基地で、T7（ティーセブン）という 2 人乗りの航空機で訓練をする。いわゆるパイロットの養成基地である。民間機が利用する空港と併用することは常識からして考えられない。
- ・有事の際には、物資の輸送等、どの空港でも自衛隊機が一般の空港を活用することはありうる。
- ・こうした経緯、事実であるので、ひとまずはご安心いただきたい。

■地域の抱える課題等について

- ・島田に限らず、日本中で今、一番課題となっていることは人口減少。団塊の世代が全て後期高齢者になる 2025 年から 2030 年までの間に高齢化率が 4 割を超え、2030 年から人口自体が減少していく。
- ・働く人の人口が半分くらいになってしまい、税収も減少する社会が目前に迫っている。
- ・明日は今日より良くなるといった（高度成長期）と違って、いつリストラになるかもしれない、給料も上がるかわからない、土地が値上がりする目途がないことに加え、空き地や耕作放棄地が増えていく時代にあって、公共施設も合併によって 3 倍近くになっているものもあり、維持修繕の経費も多く掛かっている。
- ・先行きが不安なので、年金受給者の方でさえも老後の資金を貯めている。
- ・税収も減っていった、高齢者が増え、福祉、医療、介護の経費は増えていく、教育にも力を入れなければならない。さらに、高度経済成長期を中心に整備された公共施設は 276 施設 663 棟の建物がある。この施設に係る修繕費の費用はこれからの 40 年間で 2,515 億円かかる。年間 63 億円にもなる。今は維持管理・更新に年間 36 億円かけているので、その 1.75 倍となる。このことから、施設のあり方を検討をしていかななくてはならない。
- ・市役所の建て方でも、全国的な傾向を見ると、上層部をマンションやホテルとして、市役所と併設して（民間の力を活用して）いる事例もある。
- ・今までと同じように、施設を建てていったら、次の人たちが借金を支払っていくことが大変になる。今だけよければいいわけではない。
- ・右肩上がりの時代は、市長は自分の任期で何をやるかということが、例えば市長がやったこと、市長は何を造った、市長はこの道を造ったなどというように。しかし、これからの時代の市長は、10 年先の島田のために、今何を選択するかという、そういうことが今の私の役割だと思っている。自分のときだけいいのではない。そこのところは完全に、時代が変わったと私は思っているので、10 年先にここに暮らす人たちが豊かに暮らせる社会をつくるために、今自分は何を判断するかということが自分の仕事だと思っている。
- ・市は都市経営する会社であり、顧客は市民。その市民が安心して暮らせる「しまだ」をつくっていくためには、会社の経費をコストダウンする努力、職員の意識改革と、職員一人当たりの生産性を上げていくことにも取り組まなければならない。
- ・増田レポートといって、1,700 余りある全国の自治体の中で、896 という、実に半分の自治体が、2040 年には消滅をするかもしれないというショッキングなレポートが出て、それから国も、瞬く間に「人口減少」、「地方創生」という流れができてきた。若い人がいなければ、その都市は消滅してしまう。
- ・このため、若い人に住んでもらうには、働く場所と住む場所がなければならない。
- ・産まれる子どもの数は統計上から見ると 1975 年から減少してきている。すでに 40 年間も減り続けている。今、女性が子どもを平均 2 人産んだとしても、30 年間は人口が減り続けると言われている。このため、子育て環境の充実を図る施策を進めるとともに、人口が減っていく時代に対応をしていかななくてはならない。
- ・一般の市民の方からのメールで、市長は若い人を育て、大切にしていけるための施策を進めているが、それは高齢者をないがしろにするものかというものだった。

- ・今は60代以上の方が中心になって、地域の行事や安心・安全を守ってくれているが、若い人に引き継いでいくためには、高齢者の知恵や経験を次の世代に伝えていくことが必要。人材育成が必要ということである。高齢者が安心して暮らしていただくには、跡継ぎが増えていかなければならないということ。
- ・行政のかたちも、昭和や20世紀とは同じではない。こういう時代にどういう行政のあり方が必要かを一緒に考えてもらいたい。
- ・地域課題の解決については、皆さんと一緒に考えていきたい。
- ・地域の助け合いの事例として、ある地域では、500円の券などを活用して、地域の人達で助け合う生活支援のサービスを行っていく計画がある。元気な高齢者はサービスを提供し、たとえ500円でも収入になる。
- ・高齢者が、公民館で放課後児童クラブを行っているところもある。
- ・市がワゴン車と保険とガソリンを負担して、地域の足を確保するために、地域がボランティアなどの運転手をお願いしていくことも計画している地域もある。
- ・このように、地域の課題を自分たちで解決していくことを行政として最大限支援していく。
- ・行政も一生懸命やる。「あれもやります。これもやります。」ということをお願いが言えない状況であることも事実である。
- ・そういうことができる地域が、安心して暮らせる地域として選択してもらえる地域となる。

■牧之原公園の整備について

- ・工事期間は11月1日から2月28日までとなっている。(公園内に工事の看板が掲示されている。)
- ・懸案のトイレについては、解体して展望台の部分を含めた今のトイレの方まで延ばしてトイレは道路側に新設する。
- ・このように公園全体を一体整備することは滅多にない。これは、牧之原公園が夜景100選ということに加え、お茶の郷(6月から県へ移管)、旧金中跡地と一体となった整備に相応しい公園としていくための投資である。

■お茶の郷と旧金谷中学校跡地の利活用について

- ・お茶の郷は今年の6月1日に県に移管した。島田市が所有するよりも県営のお茶の博物館になるほうが、発信力、財源の確保の点に加え、県知事は、花の都は浜松、お茶の都は是非、島田市へという要望をして実現した結果である。
- ・県の話では、再来年の春(仮称)ふじのくに茶の都ミュージアムとしてリニューアルオープンとなる予定。県が所有しても全国的にも例を見ない、お茶の専門の博物館ということであるので市も連携を図っていきたい。
- ・県が持つことによって情報発信などにおいて効果的であることがあげられる。お茶の薬能などお茶の機能性という分野を追加することも考えられる。
- ・お茶の郷と旧金中跡地を行き来できる、交流人口の増加もにらんで、4.5mの歩道を整備した。

- ・旧金谷中学校跡地は、5.6ha あり、アイデアコンペを実施した。(応募点数は 24 点) この中で、富士見の湯という提案が一番となった。食と癒しと健康がコンセプトのものであった。
- ・今は、マーケットサウンディング（感触を探る）とあって、どのくらいの企業が進出するかといったニーズ調査をしている。県と連携して、今年度中に事業化の方針を決めていきたい。
- ・市が土地を提供し、上物は県が整備するという今までの経緯の中、県も予算化が難しい中で民間の活力を活かした取り組みによってにぎわい、雇用などを創出することを目的とした整備を目指している。
- ・その際には、具体的ではないが、かたくり会館をどちらかにひっばってこないといけない。

■賑わい交流拠点の整備について

- ・NEXCO 中日本、大井川鐵道、JA 大井川、島田市の 4 者が連携し、新東名高速道路島田金谷 IC 周辺に、地域の特産品を集めた販売所や、カフェやレストランなどが入る施設を建設する予定。売り場面積が今のところ 1,400 ㎡ということで、日本一となるマルシェとなる見込み。大鐵は新駅建設も検討している。
- また、市は、新東名の下に、国の占用許可をとって、約 1,000 台弱の駐車場を造る予定となっている。
- ・基本計画の内容については、11 月から 12 月ごろにはメディア向けに発表できる段階になっている。
- ・国一バイパスの 4 車線化に伴い、大代インターチェンジの改良も必要になると JA 大井川五和支店の移転も必要になるのではないかとと思われるので、JA の視点の交流拠点の中に組み込むことも考えている。
- ・奥大井につながる観光の拠点であり、大井川流域の農産品をここに集めて売る。
- ・最短で平成 30 年 5～6 月に着工できる計画で頑張っている。
- ・最近国土交通省も「パークアンドライド」とあって、一端料金所を降りても、通過したときの料金と変わらないシステムも考えていることの報道もあった。こうしたことも視野に入れていきたい。
- ・首都圏からの観光バスの往復 500 km の位置として、交流拠点の位置あたりになるので、バスを降りてつながる観光の拠点とすることに加えて、空港周辺のこの地域にも交流人口の増加につながる導線を考えていきたい。

■その他金谷地域への取り組み

- ・何度もお聞きしている言葉の中に、「合併しても何もいいことがない。」がある。苦悩の10年間だったと言う声も何度も聞いている。
- ・市と町であると、直接、住民に掛けるお金の規模が違ってくる。一人ひとりにあたるお金の額から言えば、サービスが悪くなったと言われるかも知れないが、小さな規模ではできないインフラの整備もできていくようになる。
- ・この金谷地域は一番発展性のある地域になってきていると思っている。
- ・国道1号バイパスの4車線化、菊川インターのフルインター化などは早期に完成できるよう、継続して予算の確保も含めて要望をしていく。
- ・御前崎港⇒菊川IC⇒大代IC⇒新東名という大災害時における命の道がつながるということで国への要望を積極的に行っている。
- ・国も道路の予算が今までの3分の1になっている現状において、ただ単に造ってくださいと要望してもその要望は通らない。その道路を造ることによって、雇用の創出や渋滞の解消、企業の進出数など数値で効果を表さないとならない。(ストック効果を示していく必要がある。)
- ・新東名金谷インターチェンジ周辺の84haを内陸フロンティア地域として開発することを考えている。農振除外ができるかということと、大井川土地改良区の受益地になっていることへの対応という課題がある。
- ・何とか今年度中に目途をつけて、にぎわい交流拠点とともに、企業誘致を進めていきたい。現在、企業に戸別訪問しながら頑張っている。企業誘致によって雇用の創出を図り、若い人に選ばれるまちに懸命に取り組んでいる。

■お茶の振興について

- ・価格の低迷、後継者不足、お茶離れなどの課題がある中で、西原地区の4.4haを若い人が新たな事業にチャレンジしている。
- ・切山でも農地の集約をはじめている。西原地区同様に若い人たちが食べていける農業を応援することに取り組んでいる。
- ・また海外に向けたお茶の取組みとして、残留農薬の検査の費用などについて市で助成している。さらに改植や耕作放棄地(専門の職員を配置している)の対策にも取り組んでいる。

■産業支援センター(おびサポ)について

- ・島田市産業支援センター(おびサポ)を4月12日に開設した。地元の中小企業に皆さんへの創業、起業支援、補助金などの相談などに応じている。
- ・主に島信の支店長クラスが相談に応じている。相談時間は1時間くらいで、年間1,200件を想定していた。この想定件数を4か月足らずで超えている。
- ・工業、商業者だけでなく、農業に従事する方も営農支援のご相談に来所いただければありがたいと思っている。

■医療制度改革への対応について

- ・国も社会保障費に経費が掛かる時代にあつて、何とか医療費を削減しようとする中で、2025年を目途に医療制度改革を行う予定になっている。
- ・医療費が毎年1兆年ずつ膨らんでいる中で、この抑制をしていくための改革である。
- ・病院・施設から在宅へという流れ。
- ・市民病院も救急病院として、例えば入院日数14日から9日にするなど。
- ・この4月から24時間訪問看護ステーションをはじめた。市内の開業医が高齢化に伴い往診も難しい中にあつて、医師の指示書に基づいて、専門のナースが自宅に伺い、入院が必要な場合には市民病院へ、そうでない場合には医師の指示どおりの医療行為を行うもの。8人のナースの体制で、市民病院の健診センターに拠点を構えている。まだまだ利用率から周知が足りないと感じている。負担は1割程度となることから、是非、頭の片隅においていただきたい。
- ・地域包括ケアシステムにもとづく地域包括支援センターは市内6か所に拠点を設け、専門のスタッフを配置して、住まい、生活、介護予防、医療、福祉の事案についてワンストップ、トータルで支援していくもの。是非御相談いただきたい。

■市民会館について

- ・現在、解体は終了して更地になっている。今年度中には舗装をしていきたい。帯桜があるところは、少し広めの帯桜パークのようなものをつくって市民の憩いの場やイベントの場として活用してもらえるようにと考えている。当面の間は、駐車場、賑わい広場、中心市街地の防災の避難地として使っていく予定。
- ・市民会館は県内でも早く建設され、音響設備など立派な建物であった。私たちの誇りでもあった。早くできた分、老朽化も早く耐震性もないことから、今回解体するという決断をした。(年間のホールの稼働日数は30日、リハーサルも入れても60日程度となっている。)
- ・これに対して、同じものをつくるとなると、70~80億円、100億円という事業費になることから、病院建設をまず優先して行うことを選択した。病院に目途が立った段階で、市民会館と市役所(築53年)、おおり(築34年)、建設検討委員会を立ち上げて(病院の設計に目途がたった段階で立ち上げていきたい。)、周辺を一体とした整備について検討する。
- ・公共施設の長寿命化にも取り組んでいく必要がある中、賢く使うということを主眼に取り組みを進めていきたい。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	■金谷地域のプロジェクト等の位置づけについて 金谷地域でいくつかのプロジェクトが控えている中、来年度策定される総合計画に盛り込んでもらいたい。	●金谷庁舎については、現在、おおりに入っている社会福祉協議会が市民会館の向かい側に移転する。(11月上旬)。社会福祉協議会が出たスペースに教育委員会を移転する計画である。(年明け)

	<p>また、旧金谷、旧五和が分断されているなか、金谷庁舎のあり方について早く、当時約束された支所の統一化も含め時代にあったものの考え方に応じた対応をお願いしたい。</p> <p>旧金中跡地については、8億円のたががはまっている中、石畳茶屋、牧之原公園など、空港を核とした全体を網羅した中で、最小限の投資効果を出せるよう総合計画において検討していただきたい。</p> <p>牧之原空港周辺ゾーンとして、ランドデザインを描く中で導線や施設整備を検討してもらいたい。</p>	<p>耐震性のない庁舎での業務には課題もあること、しかもあの施設を耐震化することは莫大な費用がかかる。さらに配管等の設備の老朽化が進んでいる。昨年エアコンが壊れてしまっている。修理代に6,000万円かかるという状況である。こうした中で、一度おおりに教育委員会を移していく。金谷庁舎の機能（整備）については内部で検討しているが、一つ方針が決まっていることは、南支所、北支所を今の金谷庁舎の跡地に一本化させていただきたいということ。旧金谷町と旧五和村が合併した融合の地に金谷庁舎があるという点に加え、行政効率も考慮するとあの地に支所を設けていきたい。今の支所の施設は、地域貢献に値するような施設としての活用を考えていきたい。</p> <p>この地域は、ティーガーデンシティ構想の「風の郷」というゾーニングの中で、旧金中跡地の活用について、県でも検討が進められてきた。</p> <p>知事が変わって考え方も変わる中、大手企業などは、旧金中跡地よりもインター周辺の方が魅力的だと考えられている。したがって、何が一番効果的かということさをさぐっている段階である。県が主導で県と市が連携しながら今年度中に基本計画をお示しできると思う。</p> <p>国のまち交の補助金も入っている中で何もしないわけにはいかない。</p>
2	<p>■中学校のスクールバスについて</p> <p>小学生は静鉄のバス利用しており、金谷町時代は定期券を自己で負担していたが、合併後は市が負担してくれて助かっている。</p> <p>以前は、この地域の中学校の生徒は歩いて通っていたが、中学校の移転を機にスクールバスを出してもらっていた。（金谷町時代ですでに30年以上経過している。）</p> <p>そのスクールバスのルートは、猪土居・切山ルートと菊川橋・神谷城ルートがあり、猪土居・切山ルートは出発が6:45で学校到着が7:10で所要時間が25分。菊川橋・神谷城ルートは、7:00出発で、学校到着が7:25で同じく25分の所要時間となっている。しかし、この9月から1</p>	<p>●この件については、申し訳ないが承知していないので、教育長に確認して御回答申し上げます。宿題とさせていただきたい。【検討事項1】</p>

	<p>台のバス（ルート）となった。7:00に出発して学校到着が7:55で所要時間は55分となっている。長時間バスに乗ることから、乗り物酔いをする生徒もいるし、学校の行事の時には保護者が送迎している。（渋滞にはまって会社に遅れてしまうこともある。）登校は1台。帰りは2台となっている。何とか前の状態に戻せないか。</p> <p>理由は聞いていない。困ったら言って下さいといわれているが、約50年続いていたものを、地元と相談して決めてくれればいいが、紙を渡されて、これで変更しますという対応であった。</p> <p>利用者で正式に申し入れをしようという話にもなっている。</p>	
3-1	<p>■行政の継続性について</p> <p>平成27年度の自治会道水路・交通・関連要望書最終報告書について、要望したものうち、完成が8件、未完成が10件となっている。未完成の事案については継続して実施していただけるのか。</p>	<p>●市所有ではなくて、県道であったり、県管理の河川であったりというものもある。毎年、継続して要望をいただきたい。</p>
3-2	<p>■整理番号63、64番は、「農林事務所に進達した」で終わっている。その先がどうなっているのか。</p>	<p>●県の所管なので進達しているが、その先の対応について知りたいのか。</p>
3-3	<p>■知りたい。できないならできないでその理由も聞きたい。</p>	<p>●全ての自治会において要望どおりになっているところはない。</p> <p>説明の内容や対応の状況に納得いただけないということなので担当にもう一度説明するように伝える。【検討事項2】</p>
4-1	<p>■職員の会議での回答について</p> <p>7月30日に牧之原公園開発の会合があった。</p> <p>その他の質問の際に、旧金中跡地の広域避難所となっているようなので、その部分の避難する場所の確保してもらいたいといったら、たぶんそういうふうになると思いますというはっきりしない返事だった。</p> <p>できないならこういう理由でできないとはっきりいってほしい。</p>	<p>●行政はそれぞれ担当を持っていることから、当日は市街地整備課が担当したと思う。旧金中跡地の広域避難所になっている件については、所管外であったため、責任もってお答えできなかったと思う。</p>

5-1	<p>■広域避難所として使えるようにしたいのか市長の考えを聞きたい。</p>	<p>●まだ決まっていない。あの土地は民間の開発を想定している。そのどれだけ行政の機能を入れていけるかということになる。例えば市内の民間企業でも一時避難所として提供いただいているところもある。従って、あそこにもどのようなものをいれていくかによって変わるので、広域避難所として使えるかわからない。あそこは避難所として使っても外であるので、最初集る場所ではない。避難する場合には避難所（建物の中）に避難する必要がある。</p> <p>【補足】 <u>一時的な緊急避難場所として広場を必要とする場合は、新たな施設が完成した後に、事業所と協定を締結して、駐車場等を避難場所として使用できるようにすることになる。</u></p>
5-2	<p>■お茶の郷がある。何名くらい避難できるのか。</p>	<p>●お茶の郷は避難所として使用することが可能である。 一般として体育館でも 200 名くらい。</p>
5-3	<p>■猪土居だけでも 350 軒くらいある。</p>	<p>●避難する方は、家が壊れて住めない人、二次災害によって建物が壊れる恐れがある人、危険な場所に住んでいる人など。基本は自宅で暮らすこと。 物資の供給はする。そのために、建物の耐震化、窓ガラスの飛散防止、家具の固定など住み慣れた場所での対策をお願いしたい。</p>
5-4	<p>■避難指示があるが、とりあえず自宅に待機しているのか。</p>	<p>●避難準備情報、避難勧告、避難指示と行政が出す情報に段階があるが、避難指示については、大雨、ゲリラ豪雨などの時に出す。 大災害の時に避難指示はあまり出さないと思う。避難指示の時には避難してもらわないと困る。 避難準備情報や避難勧告が出た時、夜間で大雨が降っている中で、水路等に落ちてしまっはいけないので、裏山がある方は、2階の山と反対側の部屋にいてほしいし、水が出る危険があるのだったら2階に避難してもらいたい。</p> <p>【以降危機管理部長回答】 お茶の郷で避難者（シミュレーション上の予想避難者数）の想定は 190</p>

		<p>人。お茶の郷の後継施設を避難所とすることは、県との協議も終了している（覚書の手交を行っている）。</p> <p>大地震の時には、一面に火災が起きている場合や、有毒ガスの発生などによっては避難指示の発表はあると思うが、稀なケースであると考えている。（警戒区域の設定時）</p> <p>第4次被害想定で、シミュレーションとして、10万人のうち最大17,500人が第1次指定避難所に避難するであろうという結果になっている。</p> <p>【以降市長回答】</p> <p>火災や原子力災害などで避難指示を出すことはある。</p> <p>一般的には、避難準備情報、避難勧告、避難指示は大雨の時などに出すことが多い。この場合の避難場所として、体育館よりは公民館の方がいいと思う。テレビがあって、畳があるような公民館の方が避難には適している。行政からの避難の勧告や指示が例え出でなくても、石が落ちてくる、沢の水の色、音などいつもと違う状況を感じたら水から判断して避難してほしい。自分の命は自分で守る。行政も一生懸命にシミュレーションしていく。避難所を開設するためには、3時間の時間が必要。その後に避難勧告などの情報を出すような体制で備えている。</p> <p>【補足事項】</p> <p><u>大雨を伴って大きな地震が発生する場合や地震直後に急傾斜地の崩壊の危険性が出た場合（熊本地震の事例）など、危険地域の住民に避難指示を出す場合がある。</u></p>
6-1	<p>■浜岡原発について</p> <p>浜岡原発が活断層の上に立地していることに加え、津波対策などの工事も行っているが、安定ヨウ素剤の配布なども、原発に隣接している自治体と周辺の自治体では認識が違いあるように思う。この中で、市長の原発に対する基本的な考え方を教えてほしい。</p>	<p>●ここは原発から20数キロの位置であると思うが、安定ヨウ素剤については5km圏内は国の方針で配るということになっている。島田市は全人口分を備蓄している。事前配布については検討が必要。直径2,3mmの薬であり管理が皆さんできるかという懸念と、薬にも期限があるし、医師の指示も必要ということとを考慮すると難しい。市では警戒情報が出た段階で配ることを考えておりその方法も検討している。</p>

6-2	<p>■原発の説明会では島田市民の避難は東方となっている。</p> <p>風向きからすれば、西に逃げるほうがいいのか。西側に逃げる方法を考えてもらいたい。</p>	<p>●島田市が危険な風向きは南寄りの風。年間で10%以下の比率。</p> <p>どの方向に逃げるかということについては、必ずその時に判断するが、その前に再稼働は認めないという方針を貫いている。</p> <p>島田市は県内でも早く原発事故に係る避難計画を作成したが、10万人市民を逃がせるかという点、県の計画には大変な矛盾がある。</p> <p>隣接市がはじめて逃げることとなっている。我先に逃げて、渋滞になって情報も混乱する。そうした中で正確な情報を行政としてお伝えしていくが、使用済核燃料もある中では再稼働を認める訳にはいけない。</p>
6-3	<p>■そうしてほしい。</p>	<p>●県庁で中電と県とUPZ圏内の5市2町（島田市、焼津市、藤枝市、袋井市、磐田市、吉田町、森町）が、地元4市（御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市）を除いた7市町で安全協定を結んだ。また、地元の4市について、県は必要と認める場合には浜岡原発に立ち入り調査を行うことができるとなっている。5市2町はその立入調査に同行できるということになった。立入調査の結果、必要であると認める時には、適切な措置を電力会社に求めることができる。地元4市の措置の要求があったときには、中部電力が5市2町に正しい情報を流すということになっている。地元4市の安全協定は原発ができた時のもので、3.11のような事故は想定していない安全協定。しかしながら、その協定を結びなおすことはなかなか困難。この安全協定の中には解釈書というものとなっている措置要領に基づき、事前通知がされて、事前協議を通じて実質的に事前了解が担保されるとなっている。この事前了解は再稼働の事前了解ではなく、部品の変更などを想定しているもの。実質的に事前了解を担保できる形において4市と同様に5市2町もそれに準じたものとなっている。</p> <p>地元の意向を確認して再稼働を判断するという県知事の言葉から、周辺市町の意見は聞いてくれるものと信じている。</p>
6-4	<p>■巨額を投資して、新安全基準に合致していると再稼働となるのではないかと懸念しているが、市民が納得できる判断をしてもらいたい。</p>	<p>●地元4市の安全協定でもねじ1本換えるのに事前了解が必要であるのに、再稼働に事前了解が必要でないわけがないと判断している。</p>

		鹿兒島、新潟の県知事選挙の結果から、再稼働は難しいとの世論ではないか。
7-1	<p>■倉沢インターチェンジに名称について</p> <p>倉沢インター本体は菊川市の倉沢だが、出入口は猪土居であるので、猪土居インターとすべき。</p>	●地元でつけるものではないので難しいが、大井川焼津藤枝スマートインターチェンジの例からもわかりやすい名称が適切だと思う。
7-2	<p>■命名権は市にないかもしれないが、地域のことを考えてかえてもいいのではと考える。</p>	●意見としては承る。
8	<p>■議員の政務活動費について</p> <p>島田市議会議員に政務活動費は支払われているのか。</p>	<p>●島田市では年 20 万円となっている。全国的に問題となっている事例が過去に起こっているので、現在は自浄作用が働いていると思う。</p> <p>不正がないと確信しているが、市民の疑念を晴らすには、議会改革として領収書等の公開は必要となっていると思う。</p>
9-1	<p>■コミュニティバスについて</p> <p>障がい者として、子どもの頃から公共交通を利用ということで活用してきた。</p> <p>4月から、金谷駅から直接金谷庁舎に行けなくなってしまった。</p> <p>今までどおり直接いける路線に変更してほしいと思っている。</p> <p>今は家族が送迎している。どういう経緯でそういう路線になったかはわからないが、切山も本当は1台出てくれればありがたいと思っている。金谷駅で30分程度の待時間があるのでバスのつながりが悪くなったと感じている。使い勝手のいいコミバスにしてほしい。</p>	<p>【地域生活部長回答】</p> <p>●4月にバスの見直しを行ったことに伴い皆さんに支障きたしていることについては申し訳なく思っている。同様のお話もいただいているので、来年の4月に向けて見直しを検討している。路線の変更には国の許可が必要なので、年1回程度の変更となる。</p> <p>バスを地域の中で運行させるなどご検討いただけるのであれば、地域のワークショップなどの開催に担当を向わせるので是非検討をいただきたい。伊久身、川根地区ではそのような取り組みが進んでいる。</p>
9-2	<p>■簡単にはルートは変更できないのか。</p> <p>さんらいむ前にも通るように市にお願いをしてあるが。</p>	●簡単にはルートは変更できない。民間の事業者のルートであれば、民間の経営を阻害しないようにということの中でやっている。
10	<p>■若い人への施策について</p> <p>若い人をとってくれているが、若い人がここに住めば我々も潤う。どういことを若い人たちにしてくれているのか。</p>	●若い人への会合に多く顔を出し、若い人たちからまちづくりに関する企画書を出してもらっている。JRの運賃の補助だとかの提案もいただいている。実現は難しいが夢のある話。パラグライダーを運営する団体に若い人を入れていきたい。世代交代が今の島田の課題だと思っているので、それを促す施策や取り組み、会合などで意見を吸い上げ、実現に向けた取り組み

		<p>もしている。ママ Pro (子育てしながら仕事をする) カフェの運営をお願いしている。公園の活用の企画運営も企画書としてあがってきている。</p> <p>若い人が活躍できる場、島田市が好きだという若い人を増やしていくことが大事なことだと思う。若い人も変わってきている。有能な 60 代、70 代、80 代が多いが、その方々が若い人を育てていただき引き継いでいくことが大切だと思う。百人会議は活動を通して若い人を育ててほしいという思いでたちあげた。</p>
--	--	--

※ 回答は 5-4 の一部 9-1 の一部以外、全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応 (報告)

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容 (市長の発言)	市からの回答 (対応状況)
2 検討事項 1	<p>●この件については、申し訳ないが承知していないので、教育長に確認して御回答申し上げます。宿題とさせていただきます。 【検討事項 1】</p>	<p>■金谷地区スクールバスは、2台のバスで中学校の登校終了後、折り返し小学校の登校便として運行していました (2台で2往復)。2学期以降、小学校の神谷城地区の児童が転出し、この地</p>

		<p>区のバスに乗る児童が1人になってしまいました。そのため、小学校便を1台のバスで運行することとし、ルートの変更を検討しました。同時に中学校の登校便が早すぎるという点を解消するために、中学校のルートを一本とする案を検討し、学校の下承を得て9月から変更いたしました。</p> <p>今回ご意見を頂きましたので、改めて地元の皆様のご意見を伺うために、保護者様当てにアンケートを実施したいと考えます。その結果により、多くの皆様のご要望に沿ったスクールバスの運行を検討したいと考えます。</p>
<p>3-3 検討事項2</p>	<p>●全ての自治会において要望どおりになっているところはない。 説明の内容や対応の状況に納得いただけていないことなので担当にもう一度説明するように伝える。【検討事項2】</p>	<p>■地すべりに関する地元要望につきましては、静岡県志太榛原農林事務所へ進達をしております。県職員も、現場確認を実施しておりますが、緊急性の高いところより順次整備を進めていると説明がありました。出来る限り早期に着手してもらおうよう、再度要望していきます。</p>